

# 鳥取大学研究成果リポジトリ

## Tottori University research result repository

タイトル Title	「一式飾り」探訪記：第22回・完 未知なる「一式飾り」を探して
著者 Author(s)	Takahashi, Kenji
掲載誌・巻号・ページ Citation	島根日日新聞：5 - 5
刊行日 Issue Date	2018-11-21
資源タイプ Resource Type	論文 / Article
版区分 Resource Version	出版社版 / Publisher
権利 Rights	注があるものを除き、この著作物は日本国著作権法により保護されています。 / This work is protected under Japanese Copyright Law unless otherwise noted.
DOI	
URL	<a href="http://repository.lib.tottori-u.ac.jp/6249">http://repository.lib.tottori-u.ac.jp/6249</a>

# 「一式飾り」探訪記

鳥取大学地域学部教授 高橋 健司

第22回・完

定されて話題の大浦天主堂が、早くも山間(あいの町で作品になった。

このほか下横田では、竹製

見える。ガラスの器を用いた品一式の「どじょうすくい」

窓が、内側からライトで照らされ、ステンドグラスのように輝いている。世界遺産に認められる「一式飾り」を紹介したい。

1月に始まった連載も、いよいよ最終回である。最後に、今年の調査で新たに発見した「一式飾り」を紹介したい。

これまで私は、島根の「一式飾り」は出雲市の平田と直江、雲南市の掛合、奥出雲町の横田の4地域にのみ伝わると思っていた。ところが、奥出雲町の八川に近い下横田でも「一式飾り」が飾られているとの情報が寄せられ、今年の7月に初めて現地を訪ねた。

写真をご覧いただきたい。

これは下横田の古市自治会の元町の皆さんが食器(陶器・ガラス器)一式で作った「祝世界遺産 大浦天主堂」という作品である。車庫の高い天井に十字架が達するほど大きく、壁に用いた絵皿が美しい。入り口にはマリア像も

## 未知なる「一式飾り」を探して



品が見られた。「がんばろう広島!!」は、マーシャン牌をモザイクのように用いて広島カープの選手の絵を描き、豪雨の被災地を応援した作品である。こうした多彩な道具を用いた作品が、全部で7点飾られていた。

私は作品を見て、下横田の「一式飾り」は横田から伝わったのではないかと思ったが、下横田の新宮神社の宮司

を務める古澤宏矩氏に、昔の記録を見せていただいたところ、なんと明治24年の祭りを担当した「飾り物方」の氏名が記され、戦時中の昭和15年の祭りでは、「飾り物審査」が行われて賞金を出したことが記されていた。

連載の第12回で触れたように、横田の「一式飾り」は昭和25年に始まったとされることから、記録に記された下横田の「飾り物」が「一式飾り」と同じであれば、横田よりもはるか以前から作品が飾られていたことになる。下横田の「一式飾り」はいったいどのよう

それと同時に、島根には下横田のほかにも、未知なる「一式飾り」が存在するのではないかと、期待が膨らんでいる。もしかすると、すでに途絶えた「一式飾り」もあるかもしれない。何かご存じの方がいらっしゃれば、鳥取大学の私の研究室まで、ご連絡いただけないだろうか。この場を借りて、ご協力をお願いしたい。

今年もたくさんの方を訪ねたが、「一式飾り」は祭りが終われば解体され、また新たな作品に生まれ変わる。それゆえ来年はどんな作品が見られるだろうと胸が躍る。そして、斬新な発想で「見立て」が光る作品と出合い、作り手

と「知恵比べ」を試してみたいと思う。私の「一式飾り」を巡る探究の旅は、まだまだ続く。

連載を終えるにあたり、最後までお付き合いくださった読者の皆さんに、心より感謝申し上げたい。「一式飾り」に魅力を感じ、作品を見に各地の祭りへ足を運んでいただければ幸いである。(おわり)